

ごうどひとめぐり

花苗寄贈 8年で10,000本超 揖斐川工業株式会社

皆さんは「広報ごうど」に年2回、花苗の寄贈の記事が掲載されていることにお気づきでしょうか。町内に野菜の種苗施設を持つ揖斐川工業株式会社(大垣市)から、「地元の子どもに植物に親しんでもらいたい」との思いで贈られているもので、小学校と幼稚園に寄贈を始めて今年で8年目を迎えます。

揖斐川工業は神戸町落合にある骨材工場での砂利、砂の生産をはじめ、コンクリート二次製品の製造など様々な事業を行っています。砂利採取の際に発生する土を活用した水稻用育苗培土を商品化したことを契機として農業関係の事業も手掛けるようになり、現在では花や野菜の苗を年間約2,300万本生



◀神戸ナーサリー(柳瀬)

産しています。

平成27年5月に花苗の寄贈を始めて以来、毎年5月と11月の2回、花苗の寄贈を続けてきました。

春はマリーゴールド、冬はビオラなど、季節に合った育てやすい品種を選び、花の名前や特徴をまとめた資料も配布。小学校と幼稚園に贈られた花の数はこれまでに10,000本を超え、園児や生徒・先生の手によって育てられ、華やかな姿を見せています。

神戸町柳瀬地内に平成23年に建設した「神戸ナーサリー」では、年間600万本の苗を受注生産しています。主力となっているトマトの苗は、「おいしさ」や「病気への耐性」など異なる長所を持った苗を、接ぎ木の手法で組み合わせることにより、両者の特性を兼ね備えた苗として出荷しています。苗生産責任者の山田敏寛さんは「昨今異常気象が続く中、お客様へ必要な時期に必要な量を安定供給することに努めています」と話します。防虫網や悪天候が続く場合は補光ライトで生育を促進するなど、生産管理を徹底しています。

山田さんは「花と触れ合ってもらうことで、家で花を育てたり、植物関係の仕事に関心を持ってもらえると嬉しい。これからも寄贈を通じて植物の魅力を伝えていきたいです」と話されました。



▲平成27年の寄贈の様子



接ぎ木されたトマト苗▶

戸籍の窓

12月1日～12月31日までの受付分
(届出順・敬称略)
希望者のみ掲載しています

人の動き

令和5年1月1日現在

人口 … 18,578人 (- 15)
男 … 9,073人 (- 18)
女 … 9,505人 (+ 3)
世帯数 … 7,185世帯 (+ 3)

※()内は前月との比較



お誕生おめでとうございます

区名	お子さんのお名前(ふりがな)	親さんのお名前
安次	石原 颯 (ふう)	・誠 司, 睦
鍛冶屋町	林 泰雅 (たいが)	・健 雄, 涼 子
高塚	吉田 想 (そう)	・貴 , 久美
下宮	柴田 煌牙 (こうが)	・誠 , 理 紗



心からお悔やみ申し上げます

丈六道	児 玉 功 (92歳)
本町	小 川 節 男 (93歳)
西保	棚 橋 あや子 (92歳)
南方	笹 井 忠 男 (80歳)



ご結婚おめでとうございます

昭和町 藤 原 誠 人 ♥ 千 神 穂乃香
下宮 和 田 弘 之 ♥ 田 中 聖 子

